

【イベント案内】

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

- 企画展「空から見た丹沢」
内容：丹沢を空から見たら…?ヘリコプターで撮影した丹沢の雄姿を大型写真で紹介いたします。
開催期間：3月31日(日)まで

●特別展「食べる」

- 内容：鳥も動物も虫も、みんな食べて命をつなぎます。生き物たちの「食べる」姿を写真で紹介いたします。
開催期間：1月27日(日)まで

県立丹沢湖ビジターセンター

- ガイドウォーク(申込み不要・無料)
内容：ボランティアスタッフ「むしくさ」の方々による旬の自然を観察しながらの丹沢湖周辺散策。
開催日：毎月第2日曜日 10:00~12:00
開始時間までにビジターセンター玄関前に集合
10名以上での参加はお問い合わせください。

●出張トーク(申込み不要・無料)

- 内容：センター職員が丹沢湖周辺のおすすめ自然スポットに出現！センターを離れて、数分~1時間のトークやガイドを行ないます。
開催日：毎月第4土曜日 10:30~14:30のうち1時間
開催場所や時間、内容は月によって変わります。
職員を見かけたら是非参加してくださいね！

●スライドトーク(申込み不要・無料)

- 内容：オリジナルのスライドで、丹沢の自然を紹介！
開催日：毎月第1・3・5土曜日・祝日 11:30~12:00
10名以上での参加はお問い合わせください。

箱根ビジターセンター

- 写真展「富士山360°写真展」
内容：富士箱根伊豆国立公園の中心「富士山」を様々な角度から撮影した写真展。あらためて富士山の魅力に心を打たれます。
開催期間：12月15日(土)~2月17日(日)
開催場所：多目的ホール

県立秦野ビジターセンター

- 丹沢トーク(申込み不要・無料)
内容：生きものや景色の写真・標本などを用いて、丹沢の自然を楽しくご紹介します。
開催日：毎週土曜日、祝日 午後1時30分~午後2時
10名以上での参加はお問い合わせください。

●登山道トーク(申込み不要・無料)

- 内容：神出鬼没！登山道で会いましょう！登山道や登山口周辺で丹沢の自然などをテーマに数分のミニトークを行います。見かけたらぜひご参加ください！
※場所・時間は担当のスタッフが当日決定します。

県立陣馬自然公園センター

- 第3回「神奈川県立陣馬相模湖自然公園の写真展」写真募集！
陣馬自然公園センターでは、皆さまから風景や動物等、陣馬相模湖自然公園の魅力たっぷりの写真を募集します。
詳細は、陣馬自然公園センターのHPをご覧ください。お待ちしております。
募集期間：11月1日(木)~11月30日(金)(必着)
展示期間：12月8日(土)~3月20日(水)

2012

11・12月号
No.101

~自然公園から季節のたよりをお届けします~

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

錦秋の宮ヶ瀬

宮ヶ瀬ビジターセンター



登山道を錦に飾るカエデたち

秋、誰しもが待ちわびている紅葉の季節です。
丹沢の紅葉の見頃は、例年、標高1,500m付近では10月初~中旬ごろですが、標高300mの宮ヶ瀬では11月下旬から12月初旬ごろになります。

とくに宮ヶ瀬周辺でおすすめの、春の木丸と松茸山のハイキングコースです。両山ともに、登山道には色鮮やかなカエデの仲間やシラキが多いのが特徴です。紅葉

のピークには朱や黄色に染まった木々が山肌を彩り、大きな歓声を上げずにはいられないほどの美しい景色が広がります。

みなさんも、自然が織りなす素晴らしい宮ヶ瀬の風景をご覧になりませんか?(酒井)

*登山道やコースタイムなど詳しい情報は、宮ヶ瀬ビジターセンターまでお問い合わせください。



秋の陽に照り輝くシラキ

訂正とお詫び

自然公園だより2012年7・8月号および9・10月号の発行番号に誤りがございました。正しくはそれぞれ、No.99、No.100です。毎号愛読頂いている皆様には、ご迷惑をお掛けしましたことお詫び申し上げます。

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
1~3月第2木曜日(祝日開館)
年末年始(12/29~1/3)
箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
年末年始(12/28~1/1)

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00~16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30~16:30
(12/1~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧礼場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階

TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932

公園課(自然公園担当)：sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会

検索

晩秋の静かな尾根歩き

西丹沢自然教室

晩秋は静かな尾根歩きがおすすめです。なぜなら、動物たちに出会うチャンスが増えるからです。人通りの少ない登山道では動物たちも警戒心が弱まっているように感じます。冬に向かって食いだめをしたり木の実を隠したりするのに忙しいからかもしれません。

山の中でちょっと耳を澄ましてください。きっと動物たちが落ち葉を踏みしめる音が聞こえてきますよ。

具体的な登山コースは同角山稜、楡岳山稜、甲武国境尾根などがおすすめです。魅力いっぱいの晩秋の尾根歩きですが、秋は日没が早くなります。落葉の上は滑りやすく、踏み跡が見えなくなるから道にも迷いやすくなります。また、雪が降ることもありますので、登山の際は十分にご注意ください。(赤塚)



ニホンリス

実り少なき秋

箱根ビジターセンター

箱根はヤマボウシが多く自生することで知られています。初夏、芦ノ湖を囲む山々はヤマボウシの花で白く染まり、秋にはその赤い実が多くの野生動物たちの大切な食糧となります。しかし、何かこの夏、ヤマボウシはほとんど花をつけませんでした。花をつけなかった木に秋の実りはありません。この夏はヤマボウシだけでなく、ミズキ・リウブ・ノリウツギなど多くの木々に、ほとんど花が見られませんでした。



実りが期待されるドングリ達

そして秋、エサ不足のために、行動範囲が広がった野生動物の目撃件数が、各地で増えていきます。これから食べ頃となるブナ

やミズナラなどドングリの実りが箱根や丹沢では「平年並み」と予想されていることが、唯一の救いかもしれません。

野生動物にとってこの冬は、大変厳しいものになりそうですが、なんとか無事に春を迎えられるよう見守っていきたく思います。(石原)



ムササビが食べた若いブナの実



イカルの群れが食べた若いヌルデの実

行ってみよう！「山ろくさんぽ」

秦野ビジターセンター

秦野ビジターセンターの展示室に「山ろくさんぽ」というコーナーがあります。毎月一回、ビジターセンターから大倉高原山の家までと竜神の泉まで歩き、観察した動植物を記録し、写真と一緒に紹介しています。

大倉高原山の家までは往復1時間40分程の登山道歩き。夏はキツネノカミソリが群生し、秋はホトトギスなどの色々な植物が見られます。

竜神の泉までは往復1時間50分ほどの林道歩き。初夏は林道



月替わり展示「山ろくさんぽ」

沿いにウツギの仲間が沢山咲き、「ウツギロード」になります。

一カ月の間でも季節の移り変わりが感じることができ、そろそろあの花が咲いているかな～、あの鳥のさえずりが聞けるかな～と、毎回、何に出会えるかわくわくします。

これからの季節は木々の葉が落ち、鳥たちの姿が見やすくなります。ちょっと、時間をかけて、のんびりと歩いてみませんか？(石川)



「ウツギロード」



ホトトギス

登山者へ 初冬からのプレゼント

陣馬自然公園センター



陣馬山山頂からの眺め

の根元を見ると、茎から氷が張出し、美しい「氷の華」を作り出しているのです。

これを見るには日の出の頃からが一番良く、特に朝日の光を浴びて氷が輝くのはとても綺麗で心奪われます。陣馬山山頂付近は開けているので日差しを受けやすく、絶好の観察ポイントです。

防寒対策をしっかりとって冬の陣馬山からのプレゼントを受け取りに来てください。(森久保)

四季それぞれに素晴らしい景色で登山者の目を楽しませてくれる陣馬山ですが、やはり紅葉は格別で、燃えるように鮮やかな紅葉に魅了されます。

紅葉の次に登山者を楽しませてくれるのがシモバシラです。足もとの霜柱はサクサクととても楽しいのですが、シソ科の多年草のシモバシラは初冬に変身します。冬の良く冷え込んだ朝に枯れたシモバシラ



シモバシラ

クモたちの秋

丹沢湖ビジターセンター

紅葉が美しい季節がきました。色づく森の中ではクリ・ドングリ・アケビなどの実を生きものたちがたくさん食べて冬に備えています。

この季節、森に入るとよくクモの巣にひっかかります。クモ達も冬に備え卵を産み子孫を残すべく、獲物を捕まえるために巣をかけていたのです。

ジョロウグモのメスが食事をする中、その横では小さなオスが様子をかががっています。うかつに近づくとメスに食べられてしまうからです。別などころでは立ち入り禁止の様に×マークの巣がはられています。コガタコガネグモがそ

の上に2本ずつ足をそろえて隠れるようにして獲物を待っています。ちゃっかり者のガザミグモのオスはペアを組んだメスの上に乗ったまま一緒に移動しています。

それぞれが、いろいろな方法で次世代へと命をつないでいます。(木村)



ジョロウグモ



コガタコガネグモ



ガザミグモ

ミニコラム 秋の登山へ持っていこう

各ビジターセンターの記事では秋の自然の魅力を様々ご紹介しましたが、これから登山を計画される方も多いのではないのでしょうか？今回のミニコラムでは、そんな秋～初冬登山に欠かせないグッズを紹介いたします。

雨具



秋に限らず、山での必須アイテムですが、特に秋は天気が変わりやすい季節です。

クマ鈴



秋は冬に向けてクマたちが餌さがしに一生懸命の季節。不意の遭遇を避けるために。

懐中電灯(ヘッドライト)



日没が速くなってきます。早めの下山とライトをお持ちください。



急な雨でも雨具があれば安心です。
※悪天候が予想される際の登山は控えましょう。

防寒具



歩いている時は暑くても、立ち止まると直ぐに涼しくなります。脱ぎ着できる防寒具をお持ちください。帽子や手袋もあるとなお良しです。

双眼鏡



木々の葉が落ちる冬は、バードウォッチングに最適です。冬鳥の観察にお出かけされてはいかがでしょうか？